# スマホアプリ操作のコツ

2019・12・12 活き生きクラブ定期講座

#### 講習会に初めてご参加のかたへ

- I. NPO が運営しています。NPO が提供しているサービスについてはパンフレットをご参照ください。
- 2. 講習会は月3回を目安に開催しています 週によって曜日と時間(午前9:30~II:30または午後I3:30~I6:00)が異なりますのでご注意ください。
- 3. 開催時間の始まりから終わりまでいる必要はありません。ご都合に合わせてご利用頂けます。
- 4. 無料のセミナーです。
  - ただし、運営費捻出のため寄付をお願いしています。会議室ドア近くに 貯金箱を置いています。
- 5. スマホ・タブレット以外でもご質問は受け付けます。たとえば、ノートパソコンなど。
- 6. 今後、講習会に参加された際は、まず参加者記入票にお名前をご記入ください。

スマホアプリの操作で、

こういうことがしたいのにどうすれば良いか分から ない といった場面はありませんか?

例えば、

- ・写真を削除したい
- 今見ているページにすぐ行けるように保存したい

基本的な方針(1)

インターネットで検索してみる。

例:iphone で撮った写真を削除したい

iphone 写真 削除

基本的な方針(2)

思い込み・先入観で選択肢を狭めないで、色々触ってみる。

#### 私の経験

- ・駅の券売機(タッチパネル)で定期券を購入したい
- ・名前の入力で、苗字は入れられたけど名前 が入力できない



基本的な方針(3)設計者側の視点でも考えてみる

画面上のヒントを見逃していることが多い。 この場面ではこういうことが出来るはず、という想 像力を働かせる

(例)

・写真が見れたら、この写真要らないと思うひとがいるはず --- この画面から削除できるはず

### アプリ設計者の思想

スマホ画面が小さいので、なるべく全面に写真を表示したい 画面(写真)をタッチしたら削除ボタンが出るようにする

こういう発想について行ける想像力があるかどうか?

## 新しい試みを妨げる要素

- · 怖い
- 最悪の場合どうなるか見積もれない。怖いから触らない。触らないからずっと分からない。

・やり方が分からない操作手順をただ覚えるだけではうまくいかなくなる。

・面倒くさい

まとめ

好奇心をもっていろいろ触ってみるいきなりお金取られるようなことはまずありません。小さい子供はすぐに操作できるようになります。

・自分がアプリを作ってる側だったらどう作るだろうか?と想像してみる。